

令和5年産

大崎稲作情報 第5号

令和5年7月3日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

- ✓ 中干し後～幼穂形成期の適切な水管理を行いましょう。
- ✓ 収量の増加や品質の向上のため、適切な追肥を行いましょう。

1. 気象経過

6月第2半旬以降の気温はかなり高くなりました。第4半旬の日照時間はかなり多くなりました。第4半旬にはまとまった降雨がありました。

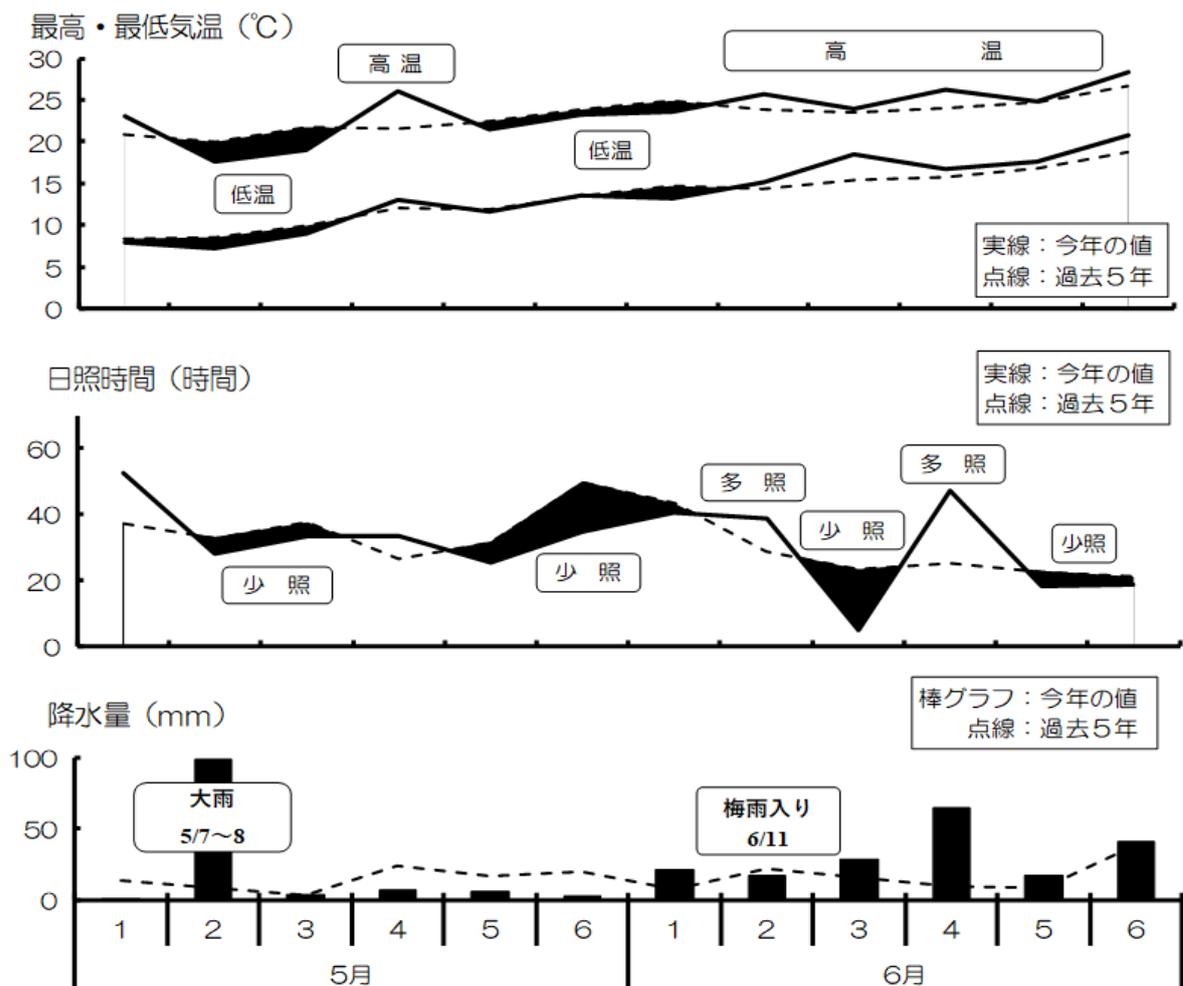


図1 5・6月の気象 (古川アメダス)

2.生育概況（6月30日現在）

6月第2半旬以降の気象条件により生育は順調に回復してきており、草丈は長め、莖数は平年値をやや下回るものの、ほとんどのほ場で目標莖数に達しています。葉数は平年を上回るほ場が増加し、5月上旬移植のほ場では幼穂が確認されました。一方、晩期移植や植え傷みが発生したほ場の一部では、葉数は平年をやや下回っています。葉色は全般に平年をやや下回りました。

表1 生育調査結果

品種名	地区名	田植・播種月日	草丈(cm) (平年比)	莖数(本/m) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	幼穂長(mm) 幼穂形成始期	備考
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月5日 (+1)	59.7 (108%)	550.9 (92%)	10.5 (+0.6)	42.4 (-0.7)	0.7	
ひとめぼれ	加美町小野田	5月17日 (+1)	48 (96%)	465.9 (87%)	9.9 (+0.2)	43.3 (-1.3)	—	
ササニシキ	大崎市古川	5月5日 (-4)	51.2 (102%)	470.7 (82%)	9.5 (-0.5)	40.7 (-3.4)	—	
つや姫	色麻町四竈	5月4日 (0)	50.4 (88%)	576.6 (98%)	9.8 (-0.9)	44.3 (-3.5)	—	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	5月12日 (-3)	62.2 (107%)	449.0 (102%)	9.7 (+0.4)	41.6 (-2.5)	—	
金のいぶき	大崎市三本木	5月11日 (-3)	55 (110%)	575.4 (110%)	10.1 (+0.6)	40.4 (-1.8)	—	前年比・差
ゆみあすさ	加美町平柳	5月21日 (-)	46.6 (-)	362.7 (-)	8.8 (-)	38.2 (-)	—	新規
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月23日 (0)	33.1 (94%)	252.7 (124%)	8.5 (+0.6)	41.8 (+2.1)	—	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩山	5月17日 (0)	45 (98%)	450.0 (81%)	9.5 (-0.4)	42.1 (+4.1)	—	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	5月3日 (-2)	37.6 (93%)	609 (114%)	7.2 (-1.2)	39.6 (-1.5)	—	
平均 (平年値のあるほ場のみ)		5月11日 (-1)	53.2 (102%)	477 (89%)	9.8 (+0.1)	42.0 (-0.8)	—	

※平年比・差は前5か年（平成30年～令和4年）の平均値との比較

表2 出穂期の予測

田植時期	田植始期	田植盛期	田植終期
	5月2日	5月10日	5月19日
幼穂形成始期	6月30日	7月4日	7月9日
減数分裂期	7月11日	7月15日	7月19日
出穂期	始期	最盛期	終期
	7月28日	8月1日	8月4日

出穂期は8月1日頃で、平年(県北部)並と推定されます。ただし、幼穂形成始期後に高温で推移すると、出穂期は早まるので、留意すること。

※7月3日現在（7/2まではR5年値、7/3以降は平年値で計算）

3. 追肥

基肥の窒素肥効が無くなり、籾数の不足や登熟不良が予測される場合は追肥によって生育調整を図りましょう。

～ 近年の品質低下（白未熟粒の発生）について ～

近年は穂揃期の葉色低下や高温登熟により、白未熟粒等が発生し品質低下することが多くなりました。葉色の急激な低下（窒素栄養の不足）を防ぐため、適切な追肥を検討しましょう。

- 追肥の主な効果

追肥は白未熟粒の発生軽減や光合成能力の向上等の共通した効果に加え、施用時期によっても異なる効果が現れます。

表3 追肥の主な効果・影響（◎：効果高い、○：効果あり、×悪影響あり）

		穂数の増加	1穂穎花数の増加	1穂穎花数の減少防止	登熟の良化	下位節間の伸長と倒伏	玄米タンパク質の増加
施用時期	幼穂形成期	○	◎	○		×	
	減数分裂期		○	◎	◎		
	穂揃期				○		×

- 追肥の目安（施用時期・施用量）

品種によって施用時期・施用量が異なります。施用時期と葉色を判断し、適正量を施用しましょう。「だて正夢」の幼穂形成期までの生育量が少ない場合は、幼穂形成期・減数分裂期にそれぞれ「窒素成分 1.0kg/10a」ずつ追肥することで、適正籾数の確保に努めましょう。

表4 追肥の目安

品種名	幼穂形成期（幼穂長:1～2mm） 出穂25～20日前		減数分裂期（幼穂長:30～120mm） 出穂15～10日前	
	施用量 (N成分/10a)	葉色（SPAD値）	施用量 (N成分/10a)	葉色（SPAD値）
ひとめぼれ	1.0kg	38～40	1.0kg	35～37
ササニシキ	—	—	1.0～1.5kg	32～34
つや姫	2.0kg	35～37	—	—
だて正夢	—	—	2.0kg	37～39
金のいぶき	1.0kg	33～35	1.0kg	30～32
まなむすめ	2.0kg	35～37	—	—

4 水管理 幼穂の発育には水の吸収が不可欠

- ✓ 幼穂形成期に達したほ場は間断かん水を行いましょう

低温時（日平均気温 20℃以下が長期間続く、または最低気温 17℃以下）の際は障害不稔が発生する恐れがあるので、深水管理を行いましょう。

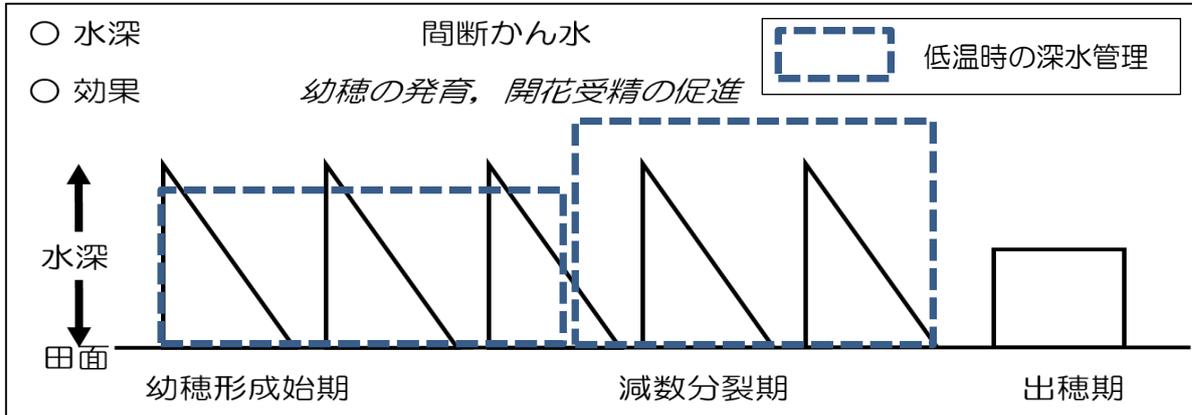


図2 今後の水管理

東北地方 1 か月予報

(7月2日から8月1日までの天候見通し)

令和5年6月29日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	40	50
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	30	60
2 週 目	東北地方	10	30	60
3~4週目	東北地方	30	30	40

